

≪ 小 代 区 ≫

開催日：5月19日（金）

場所：小代高齢者生活支援センター「いこいの里」 2階 屋内運動室

区長参加数：19名

■防犯カメラ設置事業について■

【質疑】

7年前、補助金を活用して石寺に設置した防犯カメラが壊れて機能しなくなった。小代地域局の職員に確認すると、設置後のランニングコスト等は区で支払わないといけないということだったので、区の総会で図り、修繕しないということが決まった。しかし石寺は小代の玄関口と考えているので、区内の防犯のため、町として修繕または新規購入を検討していただけないか。できれば全額を支出していただきたい。

【応答】

今設置しているものにつきましてどのような対応ができるか、一度持ち帰り、協議をさせていただいて、区長さんにご返事をしたいと思います。（防災安全課長）

【後日回答】

当該防犯カメラは、平成28年度、県の補助事業に石寺区が応募され、町も継ぎ足しの補助を行い設置されたものです。当該設置事業は、区が管理していくことを前提としており、壊れたからといって県や町が修理や取り換えを行うべきものではなく、できないことは、地域局の担当者をご説明したとおりで、区のほうでもご理解いただいていると地域局からも伺いました。

区長会の席では、小代の玄関口でもあり全額町のほうで修理や取り換えを、とのご質疑（要望）があり、改めて、持ち帰り考え方を整理しましたが、やはり、もともと区が必要であるとして設置した防犯カメラについて、町が修理や取り換えを行うことは、他に設置されている区との整合や公平性の観点からのご要望に沿うことはできません。

したがって、町のほうで修理や取り換えを行うことはできないというご返事になりますが、なにとぞご理解ください。（防災安全課長）

■町内の地域格差の是正について■

【質疑】

香美町内でも地域格差がある。

例えば農業にしても、山間地もあれば悠々とトラクターが入れるところある。高齢化率にしても半数以上が50歳を超えるところもあれば、そうでないところもあるし、医療的にも

診療所や病院があるところもあれば、ないところもある。光ファイバーも隣の集落までは来ているけど私の集落には来ていないなどがある。地域のハンディキャップを町費で埋めていただけるような施策をお願いしたい。

【応答】

地域的な配慮は考えております。

しかし、農政などについて、例えば香住の田んぼの方が作りやすいということは決してなく、中山間地域であれば、同じような対応をとっていかなければならないと思います。他の地域に住んでおられる方が尺度を持って測れないような手当はできないと考えております。

ただ私は「地域の格差は何らかの形で補填をする」という理念を持っております。

近年では地域局の改築を行いました。人口規模を超えて地域に必要であるという思いで取り組んでまいりましたし、その他にも自主防災など様々な地域の違いを支援できるような仕組みを考えております。職員を含め、小規模集落は対応しないなどという考えは決して持っておりません。また様々なご意見を頂戴し、勘案しながら政策を展開していきたいと思っています。（町長）

■農業振興について■

【質疑】

町内 3 区の中で特に小代は、耕作放棄地が増えている。とりわけコロナ禍の 3 年で進んだような気がしていて、クマを始め、野生鳥獣の被害も受けている。さらに安全面に加え観光面でも景観の悪化という影響が出ていると思う。農会長の会議に代理出席をしたときに小代に適した農産物作りで考えてほしいという要望をさせてもらったので、町も推進をよろしくをお願いしたい。

【応答】

小代の地理や風土に適した農作物を農林水産課の職員が掲示するというわけにはまいりませんが、普及センターやその他の機関の専門家に相談をさせていただき、役場も一緒になって地域の活性化に繋がるような新しい特産品の開発をどういう形できるか、考えさせていただきたいと思います。（町長）

■小代物産館の整備について■

【質疑】

物産館の建物は老朽化していることに加え、観光面から考えても構造が時代に合っていないと思う。他の施設との合体も考えられるし、観光案内所的な集客ができる施設として整備をお願いしたい。

【応答】

今後改築が必要になるのか、改修をするのか、現在使用していただいている観光協会や閉店されたレストラン部分が活用できないのか、費用的にはどうなのかなど、地域の皆さんと様々な角度から検討させていただく検討委員会をこれから立ち上げさせていただきます。（町長）

【応答】

今の建物は建築より 30 数年が経過し、老朽化しておりますので、早急に建物診断をしたいと考えています。その結果をもちまして、建て替えをするのか、改修とするのかなどを検討し、もし改修ができないと判断されましたら、検討委員会を立ち上げて、今後の建物のあり方を考えさせていただきます。また、建物は観光協会にもご利用いただいておりますので、その関係者との協議も必要になります。今後、皆さんの意見をお聞きしながら順次検討を行い、方向性をつけていきたいと思っております。（小代地域局長）

■新屋八反滝の崖崩れについて■

【質疑】

町ではなく県になるかもしれないが、美方高原自然の家に子どもたちが年間 2 万人、一般の方が 1 万人、新しいキャンプ場にも年間 2 千数百人の方々が来られているようで、養父から林道を通り、訪れる方もいる。非常に危険な状況になっているので、早急に対策を取っていただけるよう支援をお願いしたい。

【応答】

町単独でというわけにはいきませんが、関係機関との連絡、連携をとりながら、改修に向けた取り組みを早急に進めてまいりたいと思いますので、地元の皆さんにもご協力いただきたいと思います。（町長）

■国道 482 号大谷バイパスⅡ期工事の見通しについて■

【質疑】

役員会や集会を持つたびに区民から進捗状況を聞かれるので、もしわかれば教えてほしい。

【応答】

ご存知のように令和 4 年度に新規事業化をされました。その中で去年については、測量と詳細設計を進められたと聞いております。今年度は早いうちに地元説明会をするようなこともお聞きしております。県よりご案内があるかと思っておりますので、その際はご協力をお願いいたします。（建設課長）

■町道野間谷線の下がり水について■

【質疑】

町道野間谷線は道幅が狭いので、町道の維持修繕のための 30 万円の補助を活用し、側溝に蓋をして道を拡張するという工事を 2 年かけて取り組んでもらっている。

しかし、工事完了後、山からの下がり水が側溝に入らず、行き場を失って道に流れてしまっている。冬になると凍結し、通勤の車や通学する子どもたちが危険にさらされてしまう。もしパイパスが完成すれば変わってくるかもしれないが、対策をお願いしたい。

【応答】

区長さんがおっしゃいました 30 万円の補助金は、道路改良に使うべきものというより、国からの地方創生臨時交付金の活用方法を内部で検討した中で、総事などを区民の皆さんが一堂に会して実施するとコロナ感染のリスクがあると考えられたため、感染を防止の観点でつけたものであります。今後、国からの交付金はありませんので、なかなか難しいと思っております。

ただ区長さんが懸念されている、水が側溝に入らないということについては、早急に建設課長を行かせて区長さんに現場説明をさせていただきます。(町長)

【応答】

昨年度、一昨年度と 30 万円の補助金などを使って、側溝に蓋をかけ、道路を広く使えるようにしていることは承知しております。今後は 482 号の工事の関係で取り付けの部分の構造も変わってくることが考えられますし、そもそも法線が変わるかもしれません。その辺りがわかりましたら検討したいと思います。また、そこと全く関係ない場所でしたら、この工事とは別で検討させていただきたいと思います。どちらにしましても、週明けに一度見させてもらいますので、よろしくをお願いしたいと思います。(建設課長)

■新しいコミュニティづくりについて■

【質疑】

町はこれからどのように進めていこうとしているのか。最終的には行政から各地域にやりなさいとするのかお尋ねしたい。

それから、準備委員会を立ち上げたら補助金がつくと思うが、そこまでいくのに四苦八苦しており、町が全面的に援助していただかないと立ち上がらないと思うので、協力をお願いしたい。

【応答】

まずコミュニティの関係です。毎回申し上げておりますが、これは町が住民の皆さん

に対して指導的な立場でお願いするものではなく、地域課題を地域住民の皆さんに見つけていただいて、行政も協力しながら、住民独自で主体的に取り組んでいただくものでございます。役場が担当をつけ、準備段階からルールを作って実施するというものではないと思います。

射添地区にしても地域住民が主体的に考え、取り組んでいただいておりますが、ほかの地域はなかなか取り組んでいただけないのが現状でございます。改めて区長会などで、それぞれの小学校区単位で取り組んでいただけるようお願いをさせていただきたいと思っております。(町長)

【質疑】

コミュニティについて町長の思いはわかる。小代区自治会は課題を集めて立ち上げようとしているのだが、立ち上げまでに何らかの手当がしてもらえないかと期待しており、役場の皆さんにお世話になりながらやりたいと思っている。自治会とまちづくりの協議会とは違うので、準備委員会が立ち上げられたら切り離してやっていかないとはいけなと考えているのだが、そこに至るまで何らかの援助していただけるとありがたい。

【応答】

組織の立ち上げについて、例えば来年度から取り組む、組織も固まったとなれば、今の射添と同じように、公民館などで事務的な人材がつけられるよう検討したいと思います。そして、それまで区長さんや新しいコミュニティ作りの主体のメンバーの皆さんとの連絡調整や立ち上げまでの相談、事務補助については、地域局長含め小代地域局の職員がサポートできると思えます。新しいコミュニティとして団体ができたとき、職員を雇ってほしいというような要望がありましたら、させていただく準備は私も考えますので、できたら次の取り組みは小代区が手を挙げていただけたらありがたいと思っております。(町長)

■町道の修繕について■

【質疑】

毎年、国や県、町に対する要望の調査があり、毎年町道の修理をお願いさせてもらいますが、毎年同じ返事で修繕されていない。

いつになったら修繕してもらえるのかと気になるので、もし計画で順番がきまっているのであれば、公表していただきたい。

【応答】

道路の改良は、建設課の中で優先順位があるかと思えます。現地を見させていただいた中で、消耗の程度などを確認し、喫緊で直していかなければならないものから順番に

実施しております。また、予算が限られている中、交付金事業での道路改良を進めており、町負担ができるだけ少なくなるよう検討し実施をしております。

貫田の道路の関係については、具体的にお示しができるようであれば、区長さんにご返答させていただきます。(町長)

【応答】

おっしゃるところは町道前野線のことかと思います。

貫田秋岡線は何年かかけて舗装修繕をしまいいりまして、著しく悪いところは完了したと思います。今は石寺新屋線に特に修繕が必要な箇所がございまして、そちらを進めております。

修繕がいつになるかということですが、劣化のスピードは場所によって違いますので、予定を立てていてもその通りにならないこともあり、一律にお示しすることは難しいと考えております。

しかし、私たちが承知していないところでも、修繕が必要な箇所があるかと思います。よほどひどいところがありましたらお知らせいただき、緊急で対応することもできるかと思いますので、都度ご相談いただけたらと思います。(建設課長)

【質疑】

今の話は貫田だけの話ではなくて、全地区に関係する。

毎年要望していても、必要に応じて予算の範囲内という毎年同じ回答なので、かなり不満がたまっていると思う。

【応答】

町道の延長は600キロあります。それだけの町道を一度に直せるかといわれますと予算上不可能で、決して村岡や香住を優先し、小代を蔑ろにしているわけではありません。部分的な補修については、町の職員が出向いてできるようなところもあろうかと思いますし、並行して地域の皆さんに現物支給をして直していただいたりもしています。

ただこうして要望を聞かせていただくのは大変重要なことだと考えています。今後でもできる範囲でしっかりと頑張って参りますのでよろしくお願いします。(町長)

■緑の募金・緑税・森林譲与税について■

【質疑】

コロナ禍では、国の交付金による道路の修繕もコロナを理由に実施するなど工夫をされた。緑の募金や緑税、森林譲与税などについても、県などもっと上位団体に働きかけてもらって、費目を超えて使用できるようにしていただけたらありがたい。

【応答】

緑の募金などは、他の用途で活用できるものではありません。しかし、コロナの交付金もそうですが、他にも活用できるような仕組みができないかは、職員も日々考えておりますので、そういったことについては今後も検討させていただきたいと思います。(町長)

■マイナンバーカードと行政のデジタル化について■

【質疑】

マイナンバーカードの普及率は他市町と比べると優秀だが、特養に入所している方など、あと1割は未申請者として残る。こういったカードを取得できない人たちにとってこの制度は医療費が6円上乗せされるなどデメリットになる。

また、行政のデジタル化について、私も住民票をコンビニで取得したが大変便利だったし、確かにパソコンやスマホ使える人は便利だと思う。しかしユニバーサル社会として、高齢者に優しい社会を創るという観点から考えると、サービスが利用できず、逆に不便になると思う。今後ぜひ高齢者などに優しいデジタル化に取り組んでいただくようお願いしたい。